

国立感染症研究所とインド国立コレラ・腸管感染症研究所(NICED, India)との 感染症協力に関する覚書の締結について

厚生労働省国立感染症研究所（感染研）は、平成22年12月9日、新宿山手舎にて、インド国立コレラ・腸管感染症研究所（NICED, India）と感染症協力に関する覚書を締結しました。

1. 覚書の概要

- (1) 題名「日本国国立感染症研究所とインド国立コレラ・腸管感染症研究所間の感染症協力に関する覚書」（原文：英文）

“Memorandum for Cooperation on Infectious Diseases Between National Institute of Infectious Diseases, Japan And National Institute of Cholera and Enteric Diseases, India”

- (2) 目的「両国国民ひいては人類全体の健康と福祉を増進させるためには両機関の緊密な協力体制を築き上げることは必要との認識に立ち、以下の内容の協力を行う」
(3) 協力事項「①感染症に関する共同研究、②人材開発、③感染症に関する情報の共有等」

2. 覚書の署名式

覚書は国立感染症研究所渡邊治雄所長とインド国立コレラ・腸管感染症研究所(NICED) Balakrish Nair(バラクリシュ・ネール)所長が署名し、覚書の交換式典には感染研より所長他7名(副所長、企画調整主幹、細菌第一部長、寄生動物部長、細菌第一部主任研究官、寄生動物部主任研究官、国際協力室長)が出席して執り行われました。

3. その他

インド国立コレラ・腸管感染症研究所と感染研との間で、両国で問題となっている細菌、寄生虫、ウイルス感染症の病原体の解析に関する4課題の共同研究が、平成23年4月から実際に開始されることになった。今後、その成果が期待される。